新しい年、2011年がスタートして間もないこの時期に、第23回バイオエンジニアリング講演会を開催する運びとなりましたこと、実行委員一同大変光栄に存じます。必ずしも交通の便がよいとはいえない九州の中心、熊本での講演会開催ではありますが、おかげさまで300件近いご講演をいただきました。多くの皆様から賜りましたご支援、ご協力を謹んで御礼を申し上げます。

近年のバイオエンジニアリングの発展には、誰もが目を見張り、研究成果が次々と実用化されて社会に役立っております。また、バイオエンジニアリングがカバーする研究領域もさらに幅広くなり、また、それぞれの分野ともより活発な議論が展開されております。本講演会でもこれを例証するかのごとく、宇宙関連分野や農業関連分野が加わった、15のオーガナイズド・セッションが展開されています。

本講演会では、多くの参加者が見込まれることから大いなる情報交換の場として、また、会員外の方や異なる専門領域の方にも魅力的な情報収集の場としてご活用いただける講演会なることを願う次第であります。

情報交換・収集の場は、会場だけではありません。是非、会場に向かわれる途中、または会場からお帰りになる途中の風景をお楽しみください。「熊本」、「隈本」、「肥後」、「火の国」。多様な物語を持つ「くまもと」は、「水と歴史が育んだまち」と呼ばれております。市内には、加藤清正が当時の最先端技術を投じて築城した「熊本城」や、江戸時代の藩主である細川家ゆかりの桃山式回遊庭園「水前寺成趣園」があり、足を延ばせば「阿蘇」の雄大な自然を満喫することもできます。講演会中にはリフレッシュも兼ねて、キャンパス散策はいかがでしょうか？会場となる熊本大学にも、多くの偉人が集った旧制第五高等学校「五高記念館」や、機械遺産に認定された旧機械実習工場「工学部研究資料館」が当時のままの姿で保存されており、教育・研究を先人達がどのように実践してきたかを垣間見ることができます。これらにふれることができる見学会等も企画しておりますので、是非、ご参加ください。

終わりに、「くまもと」でのひとときを十分ご堪能くださるよう願っております。

平成23年1月7日
第23回バイオエンジニアリング講演会実行委員長
熊本大学大学院自然科学研究科産業創造工学専攻
中西 義孝